

下の娘の認可保育園への4月入園内定通知が届きました。しかし九百名の方が不承諾では、素直に喜べません。

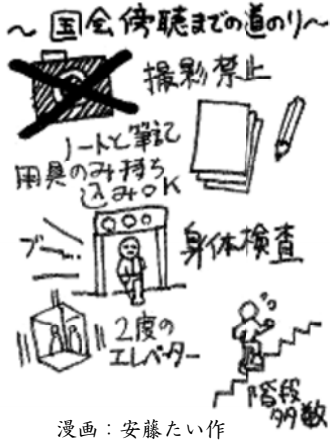


ツイッター  
アカウント andotaisaku

バックナンバー さるのつぐやき 検索

# 都議会で、国会で 明らかに道路計画の道理の無さ

国は計画を認可するべきではありません



(\*)【中央防災会議・首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告】(2013/12/19公表) 事前防災—火災対策では、「出火を阻止することも非常に重要」と強調、感震ブレーカーの100%配備を例示。

◆理由は何でも良かった事を自ら認める珍答弁  
都議会では住民が提出した「計画中止と住民参加の防災計画を求める」請願が、都市整備委（白石都議所属）、環境建設委等で審議されました。白石都議は、国の首都直下型地震対策の方針(\*)に照

2月25日には都議会で、26日には国会で品川の道路問題が取り上げられ質疑。あらためてこの計画の道理の無さが浮き彫りになりました。

【29号線の費用】  
1070分分で171.6億円  
(認可申請書より)  
↓  
190分分30.5億円で、  
区全体の耐震化(診断+設計+補強工事)が可能!

自ら認めるもの。生活者ネットの委員も賛成に回りました。

理由に進めてきましたが、それは口実に過ぎなかった事を自ら認めるもの。生活者ネットの委員も賛成に回りました。

らしても、都の対策は道路に異常に偏っていること、「丁寧に住民に説明し進める」と言いながら実際の説明会ではそうならないことを指摘。対案も示し(表)、請願採択を求めました。



◆国も、進める上では「住民理解が重要」と  
26日には現地調査をふまえて質問。放射2号線では、文科省政務官を答弁に立たせ「(大学構内を29号道路が貫通するという例は)全国にもない」「星薬科大での道路建設は大学が教育理念等を踏まえて決定すべきだ」との重要答弁がなされました。また地元説明会の住民無視の姿勢を告発、「地元住民にご理解頂きながら事業を進める事が重要」(国交省政務官)と国も認めざるを得ませんでした。

# 保育園一次「入園不承諾」・・ 子育て世帯が区に不服申請を提出



4月からの認可保育園へ入園を申し込んだ2532人（昨年2160人）のうち、894人が「不承諾」となる事態（去年632人）。今回は第一次分ですが、2次分も3歳児未満の募集枠はわずか2人分という深刻な事態です。

「このままでは内定取り消しになります！」2月28日、区内の5人のママたちが、区に不服申し立てを行いました。党区議団も同席。東京新聞や赤旗などメディアも取材し、翌日報道されています。

現在、保育園の入園は、区が優先度の基準をもうけ、ポイントをつけ入園者を決定。たとえば私（安藤）の場合、①両親フルタイム共働き（20+20=40pts）②認可保育園入園を希望しながら現在認可外保育園に預けている（2pts）③兄弟姉妹が認可保育園に在園している（3pts）、計45ポイントでした。しかし児童福祉法24条1項では、市区町村が「保育に欠ける」子どもについては保育所において保育しなければならないと定めています。これに違反すると異議申し立てし、正してもらうのは当然な行為です。区は真摯に受け止め、公有地等を活用し、対策をとるべきです！

## 相談はいつでもお気軽に。

【平日日中】5742-6818  
【土日・夜間】3785-2810

生活、医療、介護、住宅、マンション紛争、労働相談など、まずはお気軽にご相談ください



毎週火曜日  
午後1時～夜5時は  
安藤たい作事務所にて  
**生活相談会**

=====  
毎月第3火曜日  
夜6:30～8:30は  
弁護士を迎えての  
**無料法律相談会**  
主催：共産党品川地区委員会

3月は  
**3月18日（火）**



【安藤たい作事務所】  
西品川3-16-3 電話/Fax3491-3230